



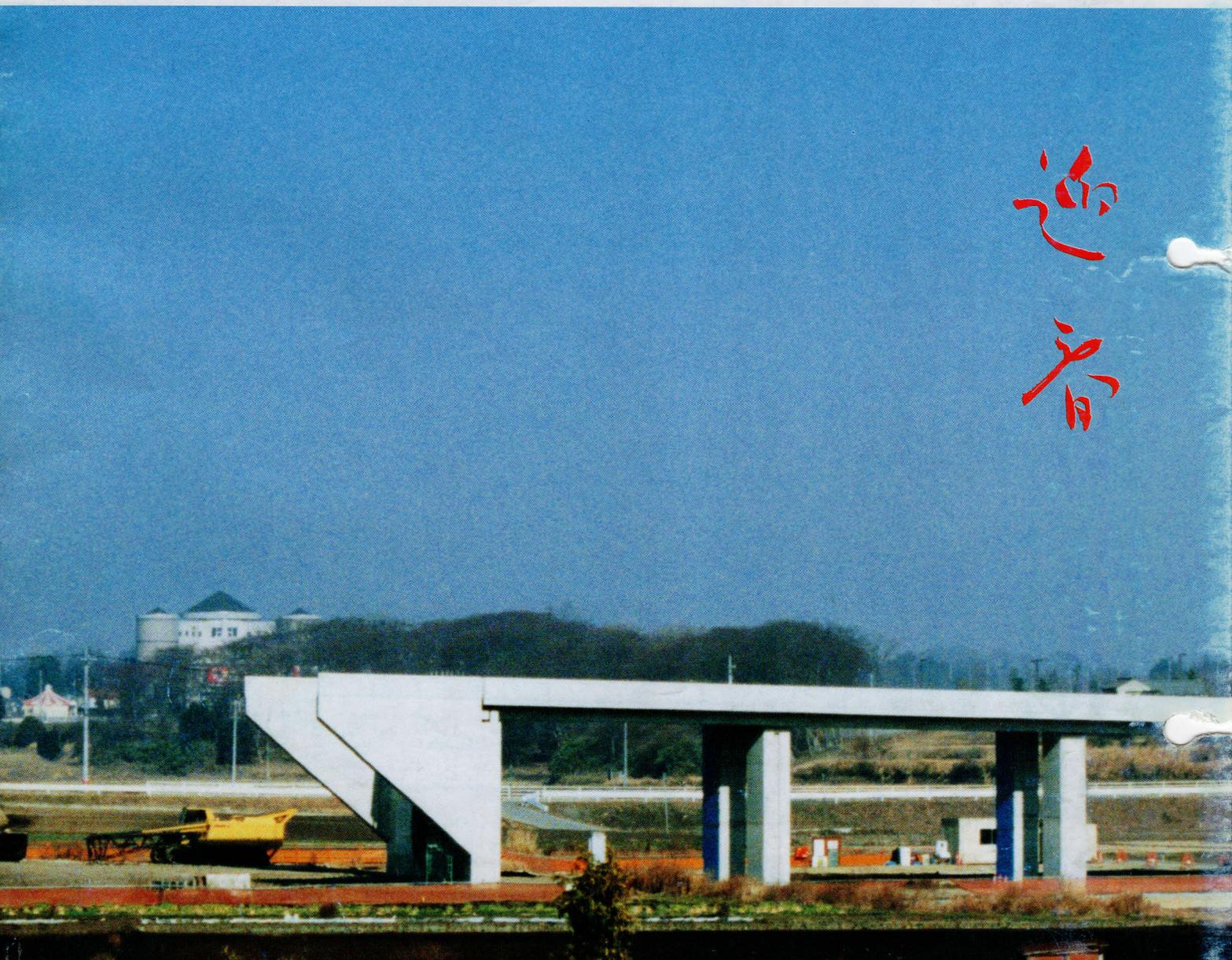
み 3i

9年

1

月

迎春



北関東自動車道六美高架橋イメージ図

工事の進む北関東自動車道

今年は丑年。牛は古くから家畜として、私たち人間と密接な関係にありました。乳牛、肉牛、農耕や運搬の役牛、役牛の中には、平安貴族の乗り物として牛車などが活躍しました。

牛車は、雛飾りに名残をのこし変わって、今は車の時代。「海へ続く道」として北関東自動車道の工事が、町内各所で行われています。近い将来、海がもっと身近になります。

年頭のムウあいらび

「夢と活力にあふれた

緑園都市・みぶ」の実現に向けて



壬生町長 清水 英世

新年あけましておめでとございます。昨年は、町政全般にわたり暖かいご声援を賜り、誠にありがとうございました。特に本町が推進しておりますまちづくりは格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

お陰様で、まちづくりも順調に推進され、21世紀の飛躍に向けて大きな前進を果たすことができました。

さて、本町では、昨年まちづくりの基本となる第四次総合振興計画を策定いたしました。この計画には、高齢化、情報化など社会状況に大きな変化が見られる今日、緑豊かな自然環境と住民一人ひとりの夢を大切にしながら、新鮮で活力ある住民のライフスタイルの実現を目指し、「夢と活力に

あふれた緑園都市・みぶ」を町の将来像として掲げ、その実現にむけた各種の施策が盛り込まれております。そして、まちづくりの基本となる「公園の整備」と「道路の整備」を推進することといたしました。幸い、本町が平成12年開催予定の「全国都市緑化フェア」の会場地に内定したことから、県立公園としてスタートする壬生総合公園の整備、北関東自動車道の建設、更には県道宇都宮栃木線や上田壬生線の改良工事等が、急ピッチで進められております。

親水公園として整備を進めている東雲公園も、すでに護岸や自転車道の整備が進み、公園の目玉となる吊り橋形式の歩道橋も着工いたしました。

また、この公園に併せて、建設省のモデル事業として進められている「くらしのみちづくり事業」も順調で、全国町村で初めて電線の地中化方式での事業が実施されている大通り（蘭学通り）も整備が進み、栄町商店街の道路景観が一変しつつあります。城址公園前の大手門通りも「舟町通り」と同じように、周辺住民の方のご協力を得て、電柱を宅地内に移設する方式で整備が進められております。また、御用水跡も復

元して、散策路として近くお目見えすることになっております。

このように、まちづくりの基本を「道路の整備」と「公園の整備」として、推進してきましたが、本年は、北関東自動車道、県道宇都宮栃木線など幹線道路を中心に道路の整備促進が一層図られるものと思っております。

公園の整備についても、県事業として栃木県壬生総合公園（仮称）が、「21世紀を担う子どもたちをテーマとする都市公園とする」という基本構想のもとに整備される「全国都市緑化フェア」の会場づくりに入ることとなります。

新競馬場についても地権者のご協力が得られ、いよいよ着工することになりますが、小動物公園や馬事公苑などを付設した競馬場として建設されることになり、緑園都市にふさわしい施設が誕生するものと期待しております。

東雲公園も東側の土地の買収を進め、歩道橋の整備に併せ、親水公園としての整備が図られる予定です。城址公園についても、正面入口の橋の掛け替え工事を進めることとしております。

このように、「緑園都市・みぶ」の実現にむけたまちづくりは、全国都市緑化フェアの会場地に内定したことから、国や県の支援を受け、急ピッチで整備が図られます。町が全国都市緑化フェアの主権団体となるのは本町が初めてですが、町を挙げて全国から来られるお客様をお迎えするために、これらの事業を成功させ、町全体を緑

豊かで美しい、しかも清潔な町にしたいかなければなりません。ここに町民の皆さま方に絶大なるご支援とご協力をお願いする次第であります。

さて、このようにまちづくりは着々と推進されますが、壬生町をさらに住み良いまちにするためには、「生活環境の改善」が不可欠であり、そのためには上下水道の整備促進があげられます。特に、県下で普及率がトップクラスにある下水道の整備促進は、町民の皆さまが最も要望する事業であり、なお一層の促進を図る一方、農村部については、農業集落排水事業を一層推進したいと思っております。

また、ゴミ処理については、処理体制を改善するため最終処分場に続いて、本年度は、地元の方々の皆さまのご協力を得て、清掃センターの更新を図り、併せて分別収集の在り方についても検討したいと思っております。

さらに、21世紀に向けて、最重点課題であります高齢者福祉を含めた地域福祉についても積極的に、しかも着実に推進してまいりたいと考えております。

昨年は、24時間体制で介護相談に当たられるよう、在宅介護支援センターを設置いたしました。本年は、在宅サービスの充実を図るとともに、高齢者の多様なニーズに対応する生きがい健康づくりの推進に努め、そのための施設についても検討したいと考えております。さらに、障害福祉や児童福祉の推進のため、福祉の風土づくりにも努力したいと考えております。

以上、ハード面を中心に、本町のまちづ

くりの施策について述べましたが、ソフト面の施策も重要であり、特に、文化とスポーツの振興であります。本町は、古墳文化が栄え、城下町としても繁栄してきただけに、古くから文化活動が盛んで、中央公民館や生涯学習館などの施設を利用した文化講座・音楽会・講演会などを始め、各種の発表会などが盛んに行われ、文化の町として知られております。今後は、さらに文化活動の支援強化を図ってまいりたいと思

ます。また、スポーツも盛んですが、高齢化が進む中で、生涯スポーツの充実が叫ばれておりますので、高齢者の方も参加できる生涯スポーツの振興などに力を入れたいと思います。最後に、産業の振興についてであります。農業・工業・商業ともに、極めてきびしい状況下にあります。そのため、重点的・具体的な施策を展開し、振興に努め、特に、後継者育成などについて努力してま

いりたいと思います。以上、施策の一端を述べてきましたが、第四次総合振興計画策定の際のアンケートをみますと、壬生町は、「住み良い」と答えてくださった方が75%を越えております。その理由は、「自然環境に恵まれているから」と「医療施設が整っているから」です。したがって、本町のまちづくりの基本である「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」をしつかり実現していくことが、

町民皆さまのご期待にそうこととなると思えます。なお、その際、本町はこれまで健全で効率的な財政運営を図ってまいりましたが、今後もこの基本路線をしつかり踏襲し、町民のニーズに対応した各施策を実施してまいりたいと存じますので、町議会を始め、町民の皆さまの絶大なるご支援とご協力を心からお願ひ申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

地方における行政改革の徹底と

議会運営の活性化に努力



壬生町議会議長

一 川 憲 一

ニーズの多様化に対応して、政治・行政・社会・経済全般にわたる構造的な改革を迫られている中であつて、町民各位にもっとも身近な総合的行政主体である地方公共団体の役割と責任は増大し、生活関連施設の整備、総合的な地域福祉施策など、個性的な地域づくりを積極的に推進することが期待されております。

地方自治法が施行されて半世紀を迎えようとしている現在、我が国の中央集権型行政が大胆に転換をし、新時代に相応しい自治制度が確立されることが急務となっておりますが、これからの社会構成では、政府活動のみに公共サービスの供給を依存していることができなくなりつつあるのではないのでしょうか。

明治以降の急速な近代化の過程で、さまざまな制度の形成や事業が国主導で行われ、その国の強力なリーダーシップによる

発展過程では、民間組織の自主的な活動が認められず、国のリーダーシップへの従属が余儀なくされ、こうした型の国家の運営は「官」または「公」への強い信頼を生むと共に、「私」にたいする不信感を作り上げてきました。このように国民の間に形成された意識が社会における問題の解決を全て政府に求め、自発的行動によって解決しようとする意識を緩慢にしてきました。また、住民活動の基盤形成の障害がいろいろな場において、その活動基盤を弱めていることにもなるのであります。

しかし、今日急速に迎えつつある高齢化社会における介護サービスや地球環境保護のためのゴミのリサイクルの推進また災害時における救援など、市民生活に期待をされ、その役割は益々拡大してきていますから、市民公益活動団体が公共サービスの担い手として一定の役割を確実に果たしていただくためには、自発性・柔軟性を維持できる基盤整備が必要であり、これからの社会形成のなかで公共サービスの有力な供給主体として、その位置づけを確立して活

躍をお願いしなければなりません。市民公益活動は、自発的な人々の参加を前提にしていますから、多様な価値観を持つております。それゆえに、多様な価値の相互作用により、新たな発想やアイデアが生れその様な多様性は、当然活動の柔軟性を生み状況の変化に応じた臨機応変な対応が期待でき、硬直的な制度に基づいて活動を行う政府や、企業組織にはない柔軟性、機動性の利点を生かした強力な活動ができるのであります。

これからの公共サービスの多様化への流れのなかで、新しい社会構造システムの在り方を模索し、新しい地方分権型社会の創生に向けて町民各位と一体となり、地域住民の代表として、その責任と役割の重大さを深く自覚し、地方における行政改革の徹底と議会運営の活性化に全力で取り組み住みよいまちづくりに努力していくことをお誓い申し上げます。

むすびに、皆さまのご健康と限りないご発展をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

平成9年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

輝かしい新春を皆さま方と共にむかえることができましたことは、誠に同慶にたえません。町民の皆さまには、平素から議会運営に深いご理解とご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

21世紀を目前に控え我が国は、高齢化・少子化・情報化など社会情勢の変化や住民

状況

家計簿

一般会計

町民の皆さんに町の財政がどのようなになっているのかを知っていただき、町政に対する理解を深めていただくため、財政状況を公表しています。

今回は、平成7年度の決算状況についてお知らせします。

決算の概要

平成7年度の当初予算は、行政の簡素化・効率化をより一層推進するとともに、中期かつ長期的な財政の健全性に配慮しつつ、適正な歳入の確保と歳出内容の徹底した合理化に努め、限られた財源で地域住民の生活安定と福祉の充実を図るため、町政の運営指針である『壬生町総合振興計画』を基本として、別途策定された「予算編成方針」に基づき、可能な限り積極的な編成を行いました。

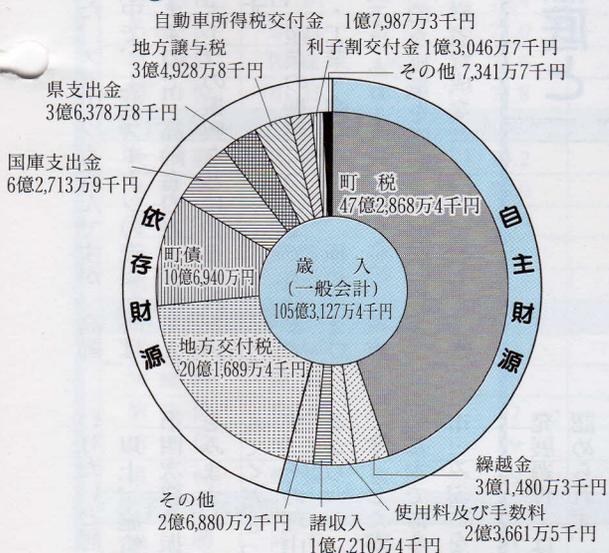
その後、発生した行政需要や景気の動向などの社会情勢に適切に対処して、生活基盤環境の整備促進、町民福祉の向上等を図るための施策について追加補正を行うとともに、引き続き適正な歳入の確保と歳出全般の節減合理化を推進し、効率的な予算執行に努めました。

その結果、平成7年度一般会計の決算額は、歳入10億5,127万4千円で予算額に対して0・2%の増収で、前年度決算額と比較して7・4%の減となりました。歳出は、10億1,463万4千円で予算額に対して96・6%の執行となり、前年度対比8・3%の減となりました。

グラフ①（歳入の状況）は、歳入の決算割合を示したものです。町税・

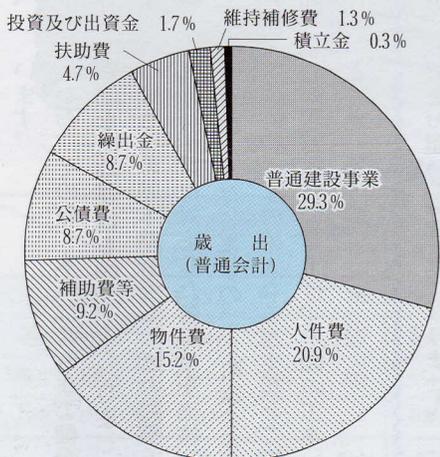
グラフ①

歳入状況



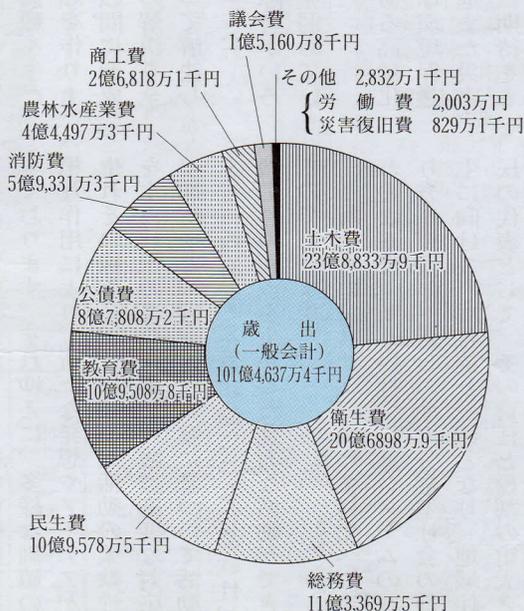
グラフ③

性質別歳出状況



グラフ②

歳出状況



諸収入などの自主財源が54・3%、地方交付税・国庫支出金などの依存財源が45・7%となっています。これらの財源がどのような目的で、どのくらい使われたかを表したものがグラフ②（歳出状況）です。

グラフ③（性質別歳出状況）は歳出の経済的性質を基準に分けたものです。全体の29・3%を占める普通建設事業費の主な事業は、最終処分場整備事業・東雲公園整備事業などの費用です。

平成7年度 決算

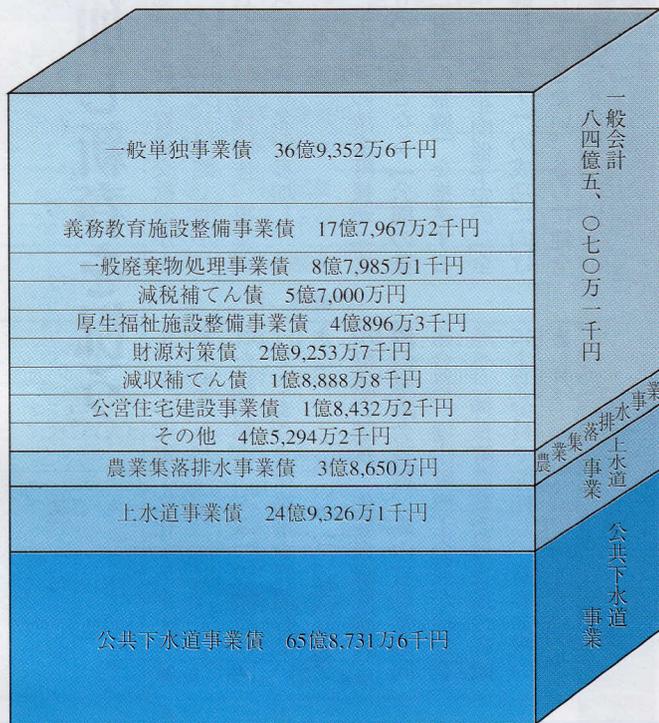
まちの

自分の町のゴミは、自分の町で処理ができるようになりました。
(王生町環境センター)



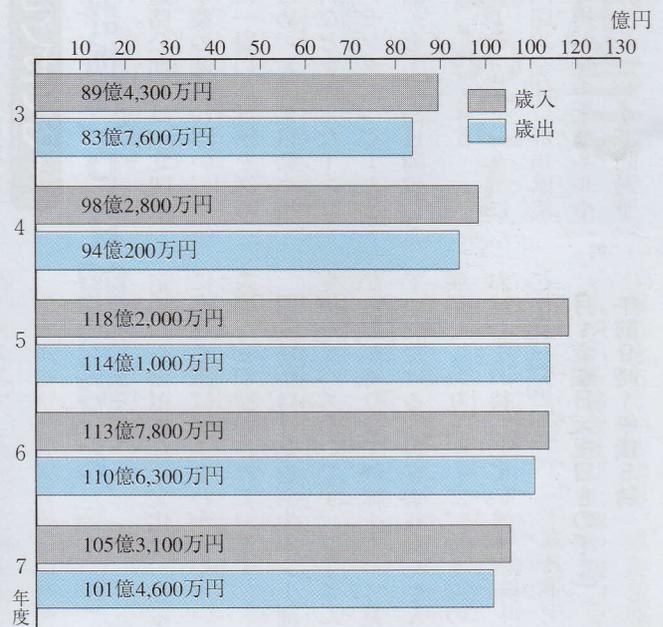
地方債現在高

(平成7年度末)



一般会計決算額の推移

(平成3～7年度)



特別会計

決算状況

(単位：千円)

会計	歳入	歳出	繰越金	備考
国民健康保険	2,300,663	2,047,516	53,147 (基金積立金200,000)	
公共下水道	1,891,295	1,868,560	22,735	
奨学資金	1,335	1,286	49	
老人保健事業	2,275,333	2,179,142	96,191	
農業集落排水事業	927,808	896,965	2,076 (繰越明許費繰越額28,767)	
水道事業	総収益額 552,374	総支出額 457,961	純利益 94,413	※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金、当年度消費税収支調整額、建設改良積立金で補てんしました。
	総収入額 300,428	総支出額 528,297	※収支不足額 △227,869	

賀詞交歓会

350名が参加し新春を祝う



平成9年を祝う賀詞交歓会が1月8日、壬生中央公民館で開かれ、町内の官公庁、各種団体、事業所などから約350名が参加し、行われました。

初めに主催者の清水町長が「まちづくりの基本となる『公園の整備』と『道路の整備』を推進するとともに、平成12年開催予定の『全国都市緑化フェア』の成功に向けて努力していきたい。さらに健全財政を維持しながら、上下水道や農業集落排水事業の推進、在宅サ

ービスの充実、文化・スポーツ産業の振興など、『夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ』の実現に向けてさまざまな施策を展開していきたい。」とあいさつ、続いて衆川町議会議長、佐藤衆議院議員、鯉沼県議会議長、高山町農業協同組合長、増山町商工会長が祝辞を述べ、神長町農業委員会長の首頭により全員で乾杯し、新春を祝いました。

資料館コーナー

郷土の人々

「近世壬生の画人たち」(九)

渡辺 観風(わたなべ)

かんぼう)

1890年(明治23年) 1957年(昭和32年)

本名は一郎といい、明治23年3月2日に国谷に生まれました。少年期に画家を志して上京し、増田楳岳という南画家について、南画を学びましたが、江戸時代から続いた古い形式の南画は、情性化した魅力のない表現でしたので、ほどなく辞めて師を変えました。

次の師は尾竹国観といつて、新潟県出身の画家であり、小堀鞆音に師事したといわれます。国観は特に人物、歴史画を得意とした土佐派系の画家で、越堂、竹坡を兄に尾竹三兄弟として、明治末期から大正へと日本画壇に活躍しその名を知られました。

その頃、日本美術界に君臨していた岡倉天心は、全国的な画家組織を考えて国画玉成会を作りましたが、国観もその団体に参加しましたが、明治41年、会の審査員選考の不正について、天心を責めた為を除名処分をうけて、横山大観を中心とした天心一派に冷遇されるようになります。

正しいことが正しいとして通らない無念さは、弟子たちも同じ思いであったでしょう。



したがって国観門下の画人たちも、天心や大観傘下の画壇では、その活動が思うようにできなくなつたのは当然の成り行きで、まがつたことの嫌いな国観と同じ性格であった観風は、そうした画壇に嫌気がさし、独り暮らしの母の元に帰り、自由気儘な作画生活を送りました。また絵を描くほかに短歌を作り、早稲田大学の「都の西北」を作詞し、良寛の研究で有名な歌人の相馬御風や、東海林太郎の歌った「野崎小唄」の作詞者で歌人の今中楓溪とは、気が合つたらしく終生交際をしていました。

観風は展覧会にも出さず、希望者の為に頒布会を行ったくらいで、もちろん発表もしませんでした。持病の喘息から心臓を悪くし、昭和32年2月3日に68歳で没しました。菩提寺は、壬生寺

(文責 渡辺達也氏)

北関東自動車道 インフォメーションセンター

ぐんとかい(群栃海)PR館開設!



広報センター内部

J日日本道路公団では、北関東自動車道の事業の進捗に伴い、地元の方々に一層のご理解を深めていただくため、北関東自動車道に関する資料などを揃えたインフォメーションセンター「ぐんとかいPR館」を1月23日開設しました。

インフォメーションセンターには、栃木県内路線全体(群馬県境・茨城県境)約73kmの大パネルや各工事を紹介するビデオ、通過予

定地から発掘された文化財、さらに高速道路に関するわかりやすい説明などが展示されています。開設場所は、県道羽生田・上蒲生線バイパス沿いです。お子さんからお年寄りまで興味をもつて見ていただける内容を盛りだくさん展示しておりますので、皆さんのお越しをお待ちしています。

◇広報時間

月々金曜日(祝日をのぞく)
午前9時～午後5時

税の広場

所得税の確定申告は

正しくお早め！

平成8年分の所得税の確定申告の期間は、2月17日(月)から3月17日(月)までとなっています。

申告期限終了間近になりますと大変混雑し、落ち着いて相談もできなかつたり、長時間お待ちいただくようなことにもなりかねませんので、できるだけお早くお済ませください。

《正しい申告を》

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている皆さん自身が、税法に従って自分の所得と税額を正しく計算し、期限内に申告、納税するという「申告納税制度」を採用しています。

《確定申告をしなければならぬ場合》

事業所得や不動産所得、山林所得のある人で、確定申告書を提出

《白色申告の方も 收支内訳書の添付を》

②サラリーマンで、給与の年収が、2,000万円を超えるとき、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が20万円を超えるとき

①事業をしている場合、不動産収入のある場合及び土地や建物を売った場合などで、平成8年中の所得金額の合計額から所得控除等の合計額を差し引き、その金額を基に算出した税額が配当控除額を超えるとき

する人は、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した收支内訳書を添付しなければなりません。

《申告書を自分で書くときは》

申告書を自分で書くときは、「所得税の確定申告書の手引き」や「申告書の書き方」を参考にしてください。「申告書の書き方」に示されている番号順に記入していくと、所得や税額の計算が簡単にできるようになっています。

商工会議所などでも、税理士会などの協力を得ながら、確定申告の説明会を開催したり、個別の相談にも応じています。

お気軽にご利用ください。
《納税は期限内に 振替納税制度》

平成8年分の確定申告による所得税の納期限は3月17日(月)です。できるだけ早めにお済ませください。

また、振替納税をすでに利用されている方は、指定された預金口座の残高を確認しておいてください。振替納税をまだ利用されていない方は、納税の人数が省けうっかり納期限を忘れてしまうこともない振替納税が、大変便利です。ぜひご利用ください。

平成8年度

納税相談(住民税・所得税)日程のお知らせ

相談受付時間 午前 9時～12時
午後 1時～4時

お持ちいただく書類等

・印鑑、源泉徴収票、生命保険料や損害保険料の控除証明書、社会保険料(国民健康保険税・国民年金)の領収証書等、その他所得控除や税額控除を受けるのに必要な書類、金融機関の口座番号の控え

問合せ先 町総務部税務課 ☎82-1234

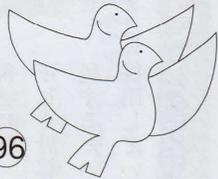
相談受付月日	自治会名	会場	
2月18日(火)	午前 釜ヶ淵、本郷	稲葉地区公民館	
	午後 下馬木(稲葉)、松原		
19日(水)	午前 西部、福和田		
	午後 中央、東原		
20日(木)	午前 下町、北原		
	午後 原坪、下坪		
21日(金)	午前 鹿島、鯉沼		
	午後 上町、台宿		
22日(土)	午前 緑町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目		南犬飼地区公民館
	午後 幸町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目		
25日(火)	午前 上長田		
	午後 国谷外道、若草		
26日(水)	午前 上田		
	午後 安塚南部、至宝町北		
27日(木)	午前 安塚(二)		
	午後 落合、六美町北部		
28日(金)	午前 中泉		
	午後 助谷、国谷本田		
3月4日(火)	午前 北小林		
	午後 国谷中央、おもちゃのまち、いずみ		
5日(水)	午前 安塚(一)		
	午後 独協医大職員寮、安塚中央		
6日(木)	午前 助谷原、国谷新田		
	午後 安塚(三)		
7日(金)	午前 東下台、城東町、舟町、栄町	壬生中央公民館	
	午後 仲通町、上通町、三好町		
8日(土)	午前 旭町、城南		
	午後 万町、上新町		
11日(火)	午前 前宿坪、台坪、ひばりヶ丘		
	午後 上坪、至宝町南		
12日(水)	午前 六美町南部第一		
	午後 下馬木、車塚、		
13日(木)	午前 城内、馬場、田向		
	午後 原宿、星の宮		
14日(金)	午前 下表町、上表町		
	午後 中表町、下横町、今井		
15日(土)	午前 六美町南部第二、下台団地		
	午後 西高野、駅東、県営壬生住宅		

※日程が変更になる場合があります。

い 広 場

お達者

カップル⁹⁶



本郷 高木 さん(71) 夫妻
しげる 林 さん(69)

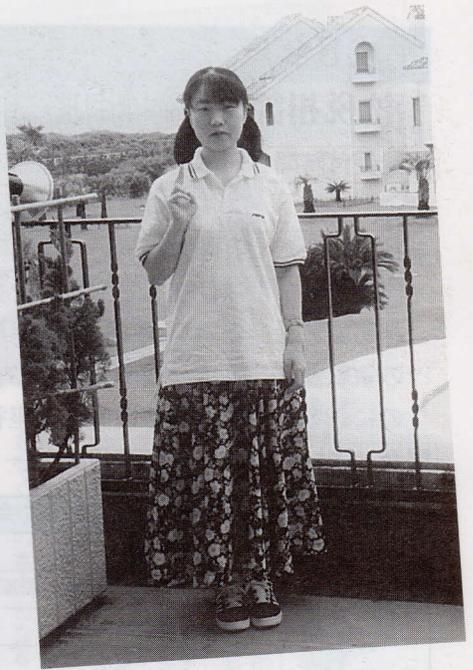
「私は、庭木の手入れ、そして妻と一緒に田畑の管理をして、適当に身体を動かしているのが病気

もせず丈夫な秘訣かもしれませんね」という高木さんご夫妻。林さんは、稲葉尋常高等小学校



青春スケッチ

68



笑顔の絶えない家族を持ちたい

緑町一丁目 大門みゆきさん

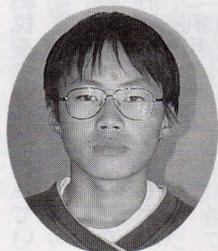
「神奈川県から壬生へ越して来て3年目、いま、眼科の看護婦をしています」というみゆきさん。

目の不自由な方と接する機会の多い彼女、応対には、細心の心くばりを心掛けているといいます。将来は、「常に笑みを絶やさない看護婦として仕事を続けながら、家族と一緒にあって明るく笑い声の絶えない家庭を持つことです」とはにかみながら答えてくれました。



「騎馬戦」

羽生田小学校6年
神永裕助



「なわとび」

羽生田小学校4年
神永順子



私の作品

ふれあ

児童館

大喜びの餅つき大会



町児童館並びに児童館母親クラブ（北川律子会長）主催の児童館恒例の餅つき会が12月25日、六美第一あけほの会（角田茂之会長）の協力を得て行われました。

これは、子どもたちに実際に臼と杵を使った餅つきを体験してもらおうと毎年行われているものです。

この日は、お母さん方に連れられた幼児から終業式を終えた小学生など約160名が参加、老人クラブのおじいちゃん、おばあちゃん

を昭和15年に卒業後、西方公実青年学校に2年間学んだ後、実家で農業に従事していましたが、昭和20年に召集を受けました。

終戦後も農業に従事し、昭和17年に南犬飼尋常高等小学校を卒業後、実家の農業の手伝いをしていたキクさんと昭和24年に結婚、お二人して米麦を中心とした農業を続けて来ましたが、昭和45年頃に壬生の特産物となるイチゴの栽培を始められ、平成5年に栽培を止めるまでの約20年間の長きにわたり、ダンナーや女峰などのイチゴ栽培を続けられました。

「今みたいにハウスの無かった頃のイチゴ栽培には、とても苦労が多かったです。」と当時の苦労話を話してくれました。

今は、お米作りが中心で田植えや稲刈りなどは、家族が手伝ってくれるので、水の管理などをする程度だそうで、那須五葉やツゲなどの庭木の手入れや自宅で食べる季節の野菜作りをお二人して楽しんでいられます。

って餅つきを体験しました。

最後に、つきたてのお餅をきな粉もちや雑煮にしてもらい、自分たちでついた餅をおいしそうに食べていました。

母親クラブ会員募集

母親クラブは、今回の餅つき会のほかに七夕まつりや夏まつり、節分会など中心になって活動しており、また少しでも子どもたちに喜ばれるような活動にするため、研修会などを行っています。

母親クラブでは、会員を募集しています。ご希望の方は、町児童館（☎82-7388）へご連絡ください。

チビツ子アルバム



あさみちゃん（2歳）

（父）増山 紀夫さん

（母）〃 恵子さん

（下台団地）

お母さんから一言

健やかで心のやさしい子になってね。



まりちゃん（10ヶ月・左）・えりちゃん（2歳・右）

（父）斉藤 忠さん

（母）〃 春美さん

（東下台）

お母さんから一言

二人とも仲良く・元気に成長してくださいね。

「チビツ子アルバム」に出してくれるお子さんを募集しています。ご希望の方は、写真に簡単なメッセージを添えて町総務部企画財政課広報聴係（☎82-1234 内線212）までお送りください。

町民ゴルフ大会

自慢の腕を競う

第10回壬生町町民ゴルフ大会が11月29日、宮の森カントリー倶楽部で行われ、男子の部108名、女子の部13名の計121名が参加、日ごろ鍛えた自慢の腕を競い合いました。

各部門の入賞者は、次のとおりです。

男子の部			ネット	グロス
優勝	中島 康夫		65.6	92
準優勝	鈴木 滋		65.8	97
第3位	渡辺 誠治		68.2	97
第4位	井上 了一		69.0	93
第5位	植竹 勝美		69.4	79
第6位	田中 好雄		70.0	82
第7位	白川 泰弘		70.4	92
第8位	奈良 富由		71.0	83
第9位	佐藤 栄		71.6	98
第10位	小島 正司		71.8	79
女子の部			ネット	グロス
優勝	天野 優子		73.2	102
準優勝	浅田 ヨネ子		78.0	114
第3位	白川 栄子		79.0	115
第4位	安楽 敬子		79.2	96
第5位	浅見 年子		81.2	110
男子グロスの部			スコア	
優勝	大塚 勝巳		73	
準優勝	鈴木 拓男		76	
第3位	松本 五男		77	
第4位	植竹 勝美		79	
第5位	板橋 康雄		79	
女子グロスの部			スコア	
優勝	鈴木 啓子		91	

統計功勞で表彰を受ける

青木金十郎（上新町）

戸崎 實（旭町）

◎大臣表彰

◇通産大臣表彰（生産動態統計調査）

桑川里子（安塚877-67）

◇労働大臣表彰（毎月勤労統計調査）

株式会社 ユニ

◇総務庁長官表彰（統計一般）

梁島和夫（本丸一丁目4-2）

◇厚生大臣

情報統計部長表彰（統計功績者）

増淵陽三（落合三丁目4-21）

なお、工業統計調査で「壬生町」

が、通産大臣表彰を受けました。



写真左より高間さん・青木さん・戸崎さん



桑川さん

お互いに注意しあいましょう！

町内各地で防犯診断を実施

犯罪のない社会は、わたしたちみんなの願いです。社会全体が慌ただしく動く年末、町と町内4地区の防犯組合で12月19日、町内一斉に防犯診断を実施しました。

当日は、防犯組合員（自治会役員）をはじめ、清水町長、塩田栃木警察署長、町消防団など145名が参加、自動車やオートバイ、自転車などの鍵のかけ忘れが無いかなどのチェックをし注意を促しました。

診断の結果は、次の表のとおりです。まだまだ多くの方が不用心

でいることが分かります。自動車の1割強、オートバイの3割近くが鍵をかけない状態でおり、自転車の鍵を掛けない状態が半数近くが施錠してない状況です。自動車などから離れるときはキーを抜き取り、ドアロックをすように心掛けましょう。

防犯診断実施結果

	自動車			自転車			オートバイ	
	実施台数	ドアロック無し	キー付き	実施台数	施錠せず	鍵なし	実施台数	キー付き
壬生地区	1,152	171	46	667	207	66	82	7
稲葉地区	1,099	265	163	561	476	21	224	89
南犬飼地区	1,039	199	80	551	275	98	100	25
おもちゃのまち	907	73	5	396	84	16	40	0
計	4,197	708	294	2,175	1,042	201	446	121
%		16.9	7.0		47.9	9.2		27.1



各戸を回り
カギをチェック

テレビ会議システムにより

マルチメディア設置開通記念式典行う

壬生小学校（和久井宏夫校長）では、12月18日、役場と同校をテレビ会議システムで結びマルチメディア設置開通記念式典を行いました。

これは、同校が県教育委員会のマルチメディア研究校に指定されたのを受け、行われたもので県内の小学校では初めての指定になります。

テレビ会議システムは、システムを持つ者同士が回線を接続することにより、リアルタイムの画像と音声で情報交換が可能になり、



画面を通して学校側と話をする清水町長

端末にプロジェクトをつなぐことで、多人数の会議もできるほか、全国の機器が導入されている各学校との通信なども可能になります。

式典には、学校側から和久井校長や児童代表16名、役場側から清水町長、桑川町議会議長などが出席、それぞれの画面を通じ、清水町長より「お互いの映像を見なが

ら話ができるのは初めて、この機器を勉強に活用し、頑張ってください」と述べられ、児童代表として6年生の木村聡美さんから「今からワクワクしています。早く全国の人と友達になりたいです」とのあいさつがあり、最後に児童代表3名から清水町長に質問があり、画面を通しやさしく答えられていました。

童話と絵本が贈られる



絵本を手に喜びの園児たち（しもだい保育園）

日産自動車株栃木工場（上三川町）より12月16日、町内の各保育園・幼稚園に童話と絵本が贈られました。

これは、同社が行っている社会文化貢献活動のひとつである「子どもに対する支援活動」の一環として、子どもたちの夢や創造性を育む、優れた童話と絵本をより多くの子どもたちに楽しんでもらおうと、毎年、童話と絵本を保育園・幼稚園に贈り続け、今回で7回目になります。

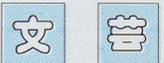
チャリティーバザールの益金を町に寄付

おもちゃ団地協同組合（平田好雄理事長）は10月、12月に催した『おもちゃ団地チャリティーバザール等』の益金40万円を「社会福祉のために役立ててください」と12月19日、1月7日、役場を訪れ寄付されました。

手縫いのぞうきんを寄贈

12月12日、通町在住の宇賀神タネさん（93歳）より、役場の各施設で使ってくださいと手縫いのぞうきん100枚が贈られました。

これは、宇賀神さんが一枚一枚丹精込め手縫いで作られたものです。



文化協会文芸部選



短歌

宝くじ買いし夕べの団欒に
億の配分話題となりぬ

荒川 綾子

洗濯の時間を当てて入念に
湯舟を洗おう冬の雨降る

石井 ヒロ

横文字は嫌いなれども夕食に
一品のせぬシーフードサラダ

曾篠登志子

軒下に吊るせし柿を見つけたら
小鳥が時々ついばみにくる

篠原 マサ

俳句

こがらし
木枯に阿呷の呼吸あるごとし

宇井 秋汀

木枯の夕風路地にカレリの香

高橋 田鶴

蕎麦がきや骨太の母寝たきりに

石原 早苗

短日や生返事する長電話

鈴木佳世子

チャイコフスキー・コンクールの感動をふたたび!!
世界の巨匠たちの期待を集める若き俊才。

ニコライ・ルガンスキー ピアノ・リサイタル

1994年 第10回
チャイコフスキー・コンクール
最高位受賞



◎日時 3月13日(木)

PM6:00開場

PM6:30開演

◎会場 壬生中央公民館

大ホール

◎入場料 2,000円(全自由席)

(未就学児の入場はできません)

※入場券は、壬生中央公民館、
稲葉・南犬飼出張所、壬生町
施設振興公社事務所(総合公
園内)で取り扱っています。

◎主催 (財)壬生町施設振興公社

◎後援 壬生町教育委員会

◎問合せ先 壬生中央公民館

☎82-0108

寄付 (社会福祉協議会)
(○)数字は寄付回数

金5千円⑦ ダンス木曜会様
金1万円⑫ ボランティアグループ虹の会様
金5千円⑬ 社交ダンスを楽しむ会様
金1万円⑥ (有)県南環境様
金1万6千286円⑤ 睦地区コミュニティ推進協議会文化祭様
金1千212円③ トロエメンクラブ様
金8千円① 糸川 つね様
金1万円① 鈴木 輝男様
金30万円⑩ 栃木市遊技場組合様
金1万円④ 石川 サト様
金2万2千円② 壬生町農業協同組合様
金5万円① おもちのまちキリスト教会様

作品を手に喜びの子どもたち



ふくべ細工にチャレンジ

壬生町子供会育成会連絡協議会
(阿久津康子会長) 主催のふくべ細
工教室が12月8日、嘉陽が丘ふれ
あい広場体育館で行われました。

この日は、町内の子供会育成会
から約90名の子どもたちが参加、
協議会役員の皆さんの指導を受け
ながら、午前中に干支にちなんだ
牛を描いたものやテレビのキャラ
クターなどを思い思いにふくべに
絵付けし、午後はニスがけをし、
りっぱにできあがった作品に子ど
もたちは、大喜びをしていました。

2月の納税等

- 固定資産税 (4期)
- 都市計画税 (4期)
- 国民年金 (2月分)

(納期限2月28日)
納期限間際は、納付窓口が
大変込み合います。早めに
納付しましょう。

まちのうごき

1月1日現在

総人口 40,072人 (△6)
男 19,731人 (△8)
女 20,341人 (2)
世帯数 12,514世帯 (21)
()内は前月比